

LESSON 1 Meeting New People

Start-Up	◎CD1.10～11
☐ 初対面の高校生同士が、出会いのあいさつを交わし、部活動へと向かう対話を読んだり聞いたりして、会話の状況と展開を理解する。	
☐ 初対面のときに用いられる会話表現、相手を歓迎する表現、あいづちの表現を身につける。	

- 1 Excuse me.** 「すみません」
解説 人に話しかける際に最もよく用いられる表現のひとつ。初対面の相手でも、知り合いでも、目上の相手でも、対等な相手でも使用できる。非常に親しい友人の場合は、“Hi,+ (人).”や“Hey,+ (人).”も用いられるが、雑談などではなく、相手に少しでも時間を割いてもらうような用事がある場合は、“Excuse me.”が適切。

- 1 Are you Haruka?** 「君がハルカ？」
解説 be 動詞を用いた SVC の文、You are Haruka.の疑問文。かなりくだけた聞き方なので、通常の初対面の相手や目上の相手には使わないよう注意が必要である。

- 2 You're Alex, right?** 「あなたはアレックスね？」
解説 二人称単数の主語 You と be 動詞 are を短縮形の You're で表現している。中学既習事項に不安があるようなら、〈人称代名詞(主格)+be 動詞〉の短縮形を一通り確認してもよい。英語では、短縮形は会話などカジュアルな場面で用いられ、短縮せずに表現するとよりフォーマルでいい言い方になる。また、前述の“Are you Haruka?”がかなりくだけた表現であるのに対し、こちらの“(肯定文), right?”はカジュアルな表現ながらも、少しマイルドな言い方である。

- 3 That's right.** 「その通り」
解説 主語の that は直前の相手の発言“You're Alex.”を指している。相手の発言内容に対して肯定する最も一般的な表現である。

- 3 It's nice to meet you, Haruka.** 「会えてうれしいよ、ハルカ」
解説 初対面のときのあいさつとして最も一般的に用いられる表現。it は形式主語で、不定詞の to meet you が真主語である。一般的に、不定詞は動詞の行為をこれから達成するニュアンスがある。一方、It's nice meeting you.という言い方は、動名詞を用いており、動名詞はすでに体験した実感をとまう行為を意味するため、この表現は会話の最後(別際)に用いられる。

- 4 Glad to meet you, too.** 「こちらこそ」

解説 文頭の〈主語+be 動詞〉I'm が省略されている。くだけた表現(SNS への投稿などを含む)では、文脈/状況から自明の主語+be 動詞はしばしば省略される。

- 5 Let's go to the classroom.** 「教室に行きましょう」
解説 一般的な「～しよう」という〈勧誘〉の表現。比較的、相手を選ばずに用いることができるが、Why don't we ...?のような「～しませんか?」という疑問文の聞き方のほうがいいのである。

- 5 Everyone is waiting for you there.** 「みんなそこであなたを待ってるわ」
解説 現在進行形の文。everyone は「みんな」の意味だが、every+one の形が表すとおり、一人ひとり全員を表しており、単数扱いであることに注意。また、wait は自動詞で wait for で「～を待つ」の意味になることにも注意が必要である。

- 6 Oh, really?** 「本当？」
解説 あいづちの Really?には、直前の相手の発言に対して驚きなどをこめて真偽を問うニュアンスと、相手の発言に対して納得感などをこめて「そうなんだ」と反応するニュアンス、2種類のニュアンスがある。発話の際、前者は語尾が上がり、後者は語尾が下がる。ここではAlex が語尾上がりで発話しているので前者のニュアンスだとわかる。

Interactions	◎CD1.13～24
☐ 現在時制(今この瞬間を含む、過去と未来に少し幅をもつ「ふだん」のイメージ)を理解する。	
☐ 状態動詞と動作動詞の違いを理解し、必要に応じて三人称単数現在形を用いて、現在形の文をつくる。	
☐ している最中の動作を、現在進行形を適切に用いて表す。	

A 現在形(状態動詞)

- 1 現在の心理や感覚を表す状態動詞**
2 現在の状態を表す状態動詞
解説 現在時制=今のこと、と誤解している学生が多いので、まずはI like cats very much.の例から、好みは昨日・今日・明日でころころ変わるものではなく、現在形と言っても表す内容は現在を中心として過去と未来に少し幅があることを理解させたい。同様に、have「～を持っている」やknow「～を知っている」も、その状態が刻一刻と変化するようなも

LESSON 1 Meeting New People

行うか」などのように説明するとよい。頻度を表す副詞は be 動詞の後ろまたは一般動詞の前に置くのが基本である。強調するために文頭に置いたり、助動詞などとの兼ね合いで文末に置いたりすることもあるが、例外に言及すると生徒が余計に混乱するようであれば、be 動詞の後ろ、一般動詞の前と言い切ってもよい。

例) It is usually warm in Okinawa.

「沖縄はふだん暖かい」

Task 2 動作動詞を使って、自分の習慣的な動作について説明する

解説 ペアワークの場合は、列を決めて、この列はA、この列はBと指定すると、学生が取り組みやすくなる。(1)(2)それぞれに対して、ABを交代させてもよいし、時間短縮のために、(1)と(2)でABの役を交代させて、各問で1回ずつAとBをやらせてもよい。また、E-Guide でさまざまなあいづちが紹介されているので、生徒に余裕があるようなら、発言にそれぞれ+1文させて、その内容に適したあいづちを使わせてもよい。

例) A: I don't drink coffee. I don't like coffee.
B: Really? That's too bad. I drink coffee every morning.

C 現在進行形

- 5 行われている最中の動作を表す現在進行形**
6 変化の途中であることを表す現在進行形
解説 Aの状態動詞の項で、状態動詞と動作動詞の区別、状態動詞は進行形にならないことを説明していない場合はここで説明する。変化の途中であることは「～しつつある」のように訳されることが多い。その変化が現在を中心として過去から未来まで続いているようなことを表す際に現在進行形で表す。例) Wild tigers are disappearing.

「野生のトラは絶滅しつつある」

動詞の ing 形のつくり方は3パターン: ①例外にあてはまらないふつうの動詞…原形+ing, ②語尾がe…eをとって+ing, ③最後の音節にアクセントがある…最後の文字を2つ重ねて+ingである。三単現と混乱しやすいが、語尾が〈子音字+y〉でもing形は関係ないので注意が必要である。

Task 3 現在進行形を使って、イラストの人物について説明する

解説 まずはイラストの人物が1人なのか2人なのかによって使うbe動詞が異なるので注意する。ま

のではない。このような状態動詞は、Cで扱う進行形にはならないことを改めて確認する。進行形は、「ある瞬間に、している最中の動作」を表し、ここで言う〈瞬間の動作〉は動画を一時停止するイメージである。スポーツの試合などは、動画を一時停止したときに「走っている」「投げている」「蹴っている」のように、静止画でもしている最中のことがわかる。一方、ドラマや映画で登場人物が何を好きなのか、どこに住んでいるのか、犯人を知っているのかなどは静止画ではわからない。静止画で意味を伝えることができないものが状態動詞で、したがって、状態動詞は進行形にはならないと結論づけることができる。三単現のつくり方は3パターン: ①例外にあてはまらないふつうの動詞…原形+s, ②語尾がs/x/ch/sh/〈子音字+o〉…原形+es, ③語尾が〈子音字+y〉…yをiに変えて+esなので、これも再確認しておく。

Task 1 状態動詞を使って、自分や身近な人について説明する

解説 解答例のモデル英文と語句リストを参考に、状態動詞を用いた現在形の文をつくる活動である。本教科書はTaskの指示文に「与えられた語句を参考に」とあるように、語句リストはあくまで参考であり、学生の英語力にしたがって自由に文をつくることを推奨している。しかしながら、ゼロから文をつくるのが難しい学生もいるため、マーカーの部分と同じ色のリストにある語句と入れ替えて、ミニマルに自分の文をつくることができればよしとする。ここでは、主語と動詞の対応を最重視し、必要に応じて三人称単数現在形を正しく書くことができればよい。学生の習熟度に応じて、冠詞抜け、目的語および前置詞句の名詞の単複のミスなどは指摘しつつ、減点対象にはしないなどの加減も必要である。

B 現在形(動作動詞)

- 3 習慣的動作を表す動作動詞**
4 頻度を表す副詞の位置
解説 状態動詞の説明で、現在時制が現在を中心として過去と未来に少し幅があることを理解できていれば、習慣的動作についても理解しやすい。習慣とは、昨日も今日も明日も(あるいは先週、今週、来週など)行うことであるので、これも現在を中心として過去と未来に少し幅があるとわかる。頻度を表す副詞については、「頻度」という言葉を初めて聞く学生もいると思われるので、頻度=「どれくらいしょっちゅうするか」や「どれくらいの間隔でその動作を

指導書本冊 紙面見本

LESSON 1 Meeting New People

た、与えられているのは名前だけなので、何をしているかは学生によって多少のバリエーションが生まれる。たとえば、(1)は *She is playing the guitar.* でも *She is practicing the guitar.* でもよい。ここでも、Task 1, 2 と同様に、主語と動詞の対応および動詞の *ing* 形が正しく話せていることを最重視し、学生の習熟度に応じて、冠詞抜け、目的語および前置詞句の名詞の単複のミスなどは指摘しつつ、減点対象にはしないなどの加減をしてもよい。

Active Learning

◎ CD1.25~26

- 現在形または現在進行形を適切に用いて、自己紹介の文を書く。
- 自分について説明する際は、大まかな情報から、より個人的な情報へ、〈抽象〉→〈具体〉の展開になるように情報を整理して述べる。
- 自己紹介を口頭で行う際は、メモから顔を上げて聞き手とアイコンタクトをとったり、語りかけるように話したりすることを心がける。



Write 自己紹介の文を書く

解説 これから1年を通じてパラグラフライティングの訓練をしていくことになるので、まずはまとまった文章を書くときに、いきなり冒頭から書き始めるのではなく、いくつかのステップを踏んで、論理構成を整えて書くという流れを身につけさせたい。難易の差はあれ、各レッスンの Write を15分程度で行う場合の流れとして以下のような例が考えられる。

●モデル英文の解説(2~3分)

ここでは Share を参考に、〈あいさつ〉→〈基本的な情報〉→〈より個人的な情報〉→〈あいさつ〉の流れになっていることを解説し、必要ならモデルパラグラフの日本語訳を音読するなどする。

●アイデアジェネレーション(1~2分)

論理構成は気にせず、「何を書くか」のアイデアを出す。ここでは、名前やニックネームはかならず言わせるとして、+αで何を言うかが問題である。自己紹介は、相手に知ってほしいと思うことを述べるので、自分の好きなことを言うのが基本である。I likeや My favorite ... isの文を1つ含めるよう指示し、さらに文を続けることができれば加点ポイントを与えるのもよい。

●アイデアを整理する(1~2分)

いくつか出した「好きなもの・こと」のアイデアから、いちばん知ってほしいと思うことや、最も話が広げやすいもの、盛り上がりそうなことを1つだけ選び、それをほかの情報を組み合わせて、〈あいさつ〉→〈基本的な情報〉→〈より個人的な情報〉→〈あいさつ〉の順に整理する。あいさつはモデル英文のものだけでなく、Start-Up で出てきた “It’s nice to meet you.” や “Glad to see you.” なども含めて、好きなものを使うと、さらにバリエーションが広がる。

●実際に書く(10分)

ここで初めて、つづりや文法を意識するとよい。初級レベルの学生は、パラグラフライティングを難しくとらえがちだが、〈論理的に考えること〉と〈正しく書くこと〉は別のことである。論理的に考えることは日本語のできるもので、まずは論理的に考えて、情報を整理する習慣をつけさせることを目指したい。自己紹介では固有名詞が多く登場すると考えられる。固有名詞には冠詞がつかないことと、固有名詞の最初は大文字で書くことを確認しておく。また、like に続ける名詞は冠詞をつけず、可算名詞の場合は複数形で表す点にも触れるとよい。



Share 自己紹介をする

解説 先に Write で文章を用意しているので、話す活動にはスムーズに入ることができると思われるが、メモを見ることに集中しすぎて、下ばかり見ないよう指導することが重要である。2分ほど練習をする時間を与えてもよい。それでも英文を見ないと不安な生徒が多いようであれば、グループの中にアシスタント係をつくって、A4用紙に〈あいさつ〉などのように書いて、今何を言うべきなのかキューを出してあげるようにするとよい。あるいは、1人1枚までキューの紙を自分で作成する(文は禁止で、K-pop songs / tennis / chocolate などの語句のみ OK とする)ことを許可してもよい。基本的に、文を見て文を話すのではなく、キーワードから反射的に文をアウトプットすることができるよう訓練していく。5文で40語~50語程度なので、1人30秒~1分で話すことが目安である。4人グループの場合、1人ずつ話して、最後のあいさつのあと、聞き手のメンバーが “Nice to meet you, too.” などの返事をするとしても、全部で6分ほどあれば終わられる目途である。余力があれば、自己紹介のあと、聞いた内容をもとに右隣の人を順に紹介する他己紹介をさせてもよい。